

地域寺院倶楽部のご案内



～地域寺院倶楽部会員特典～

- ① 会報誌『地域寺院』を毎月送付
- ② 年に1回開催されるシンポジウムに無料でご招待
『地域寺院』でご紹介した方を登壇者に迎え、日々の活動についてより詳細かつ実践的なお話をおうかがいする予定です。
- ③ 会員同士の交流・研鑽のためのセミナー開催（不定期）
例：寺院会計のコツ、お寺を使った認知症予防法など

仕様：AB版（210mm × 257mm）、オールカラー、16頁

◆年会費：5,000円

地域に密着して地道な活動をされている寺院を毎号取材！

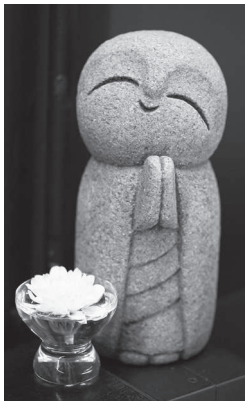
大きく変わる社会の中で寺院の明日は？
人々の宗教に対する意識は変わってきています。
寺院としての役割を考えるために、
『地域寺院』は各地の寺院を取材、
そのあり方を考えます。



■連載コラム ■ 知っておきたい寺院会計 ■ 超高齢社会を生きる ■ お坊さんに期待すること



地域寺院



いま、日本社会は大きな変革期を迎えています。
戦後の経済成長にストップがかかり、人口も減少しはじめました。
高齢化、少子化、地方の過疎化、貧無の格差、家庭の崩壊、自然災害、
そして人心の荒廃等々さまざまな現象が目に見えて起こっています。
これは戦後の復興にあたって、それまでの日本文化をわきにおいて
経済一辺倒の価値観で進んできた日本社会の結果ともいえましょう。
こうした社会状況のなか、宗教界にも大きな変化が起こっています。
信仰心の希薄化、宗教への無関心はもとより、
直葬などにみる葬儀の簡略化や年忌などの簡素化、墓終い、そして、寺離れ。
寺院の運営は、特に地方において危機に瀕しています。
しかし、こうした現象は、はたして社会の変化だけが原因なのでしょうか。
私たち宗教者に反省すべきことはなかったでしょうか。
この殺伐とした社会のなかで、仏教文化に関心を持ち、
その教えと救いを求めている人は多くいます。
私たちはそれに応えてきたでしょうか。
寺院は、“社会の資源”ともいわれます。
いま、この資源を地域社会のために活かし、なにか行動を起こさなかったら、
それこそ近い将来、多くの寺院は“消滅”する可能性が高いでしょう。
「地域寺院倶楽部」は、大正大学地域構想研究所・BSR 推進センターを拠点とし、
これからの地域社会に必要とされる寺院の在り方を探る情報発信・相互交流の場を目指します。



入会ご希望の方は、メールもしくは、以下に記入の上、FAXにてお申込みください。

FAX. 03-5394-3093

申込日 年 月 日

フリガナ		寺院名	
お名前			
ご住所	〒 -		
電話番号			
Eメール			

ご連絡をいただきましたら、こちらから会費請求書と振替用紙を郵送いたします。

バックナンバーご希望の方には、別途5,000円の振り込みをお願いしています。

●お申込み先：大正大学
事業法人 (株) ティー・マップ FAX: 03-5394-3093 E-mail: j_ishida@mail.tais.ac.jp

お申込みいただき、ありがとうございます。